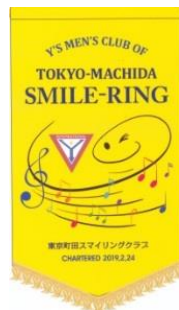




THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

「当クラブは町田市社会福祉協議会が奨励する“わくわくサロン”の公認団体です」



2021年
2月号 (第22号)

THE SMILE-RING Chartered in Feb. 20

今月の聖句

見よ、わたしは戸口に立って、たたいて
いる。だれかわたしの声聞いて戸
を開ける者があれば、わたしは中に入
ってその者と共に食事をし、彼もま
た、わたしと共に食事をするであ
らう。 (ヨハネの黙示録 3章 20節)

《モットー》

『強い義務感を持とう 義務は全ての権利に伴う』
国際会長 ヤコブ・クリステンセン(デンマーク)「命の川を信じよう」
アジア・太平洋地域会長 デビット・ルア(シンガポール)

“変化をもたらそう!”

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)「変化をたのしもう!」
東新部部長 加藤義孝(東京)「友情の絆を強め YMCA を支えよう」

クラブ会長 為我井輝忠「感謝、信頼、地固め、そして成長!」
[クラブ役員]直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫
担当主事 諏訪治邦

【2月の巻頭言】 為我井輝忠

月日の過ぎ行く様は何と早いことか。
新たに2021年を迎えたばかりだと思ってい



たら、もう2月も中旬が過ぎた。昨年1月に猛威を振るい始めたコロナウイルスが今年になってもまだ衰えず、1月7日に緊急事態宣言が発令されて2月7日にやつと解除されると思ったらさらに3月7日まで再び1か月

継続された。今後一体どうなるのだろうか。人はこの1年間心身ともに苦悩の時間を経験してきた。ステイホーム、3密を避ける等と行動が制限され、出来ないことばかりに目がいつている。しかし、何もかも制限されているわけではない。この間、してはいけない、出来ないという中で失ったものより、得たものもあるはずであり、私は得たものを考えようと思った。遠くへの旅行は出来ず、ただ家の周りや近場をただ歩くだけであったが、今まで見たことがなかった可憐な草花に出合い、小鳥の鳴声に耳を傾け、何気ない自然の美しさに驚かされた。家にいても、決して時間を持て余すよう

2021年2月例会プログラム

日時: 2021年2月17日(水) 19:00~20:30

会場: Zoomにて開催します。

(下記UNLをクリックしてご入場下さい)

<https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09>

司会 尾張日出夫

1. 開会点鐘 会長 為我井輝忠
2. ゲストとビジター紹介
3. 卓話「次世代通信5Gと今後の社会変化」
熱海クラブ 札埜謙一様
4. 諸報告など 太田 勝人
5. 閉会点鐘 会長 為我井輝忠

※ ZOOMにつき一部省略させていただきます。

※ 事前にクラブ事務局へお申込み下さい。

(申込み先については次頁をご覧ください。)

なことはなかった。今までじっくりと聴く機会が少なかったに様々なジャンルの音楽に耳を傾け、まとめて読む機会がなかった多くの本を読み、人と話す時間が増え、改めて人と人とのつ

1月の在籍者		例会出席		BFポイント		ファンド	
メン	12	メン	5	現金	0	スマイル	0
休会中	3	ビジター	8	切手(円)	20,200	オークション	0
メーカー		ゲスト	2				
		メーカー					
合計	9	出席率(%)	56	累計	20,200	累計	0

ながりの大切さに気づかせられたと言ってよいだろう。

【 今月の強調テーマ 】

2月の強調テーマ T O F 「 T O F 」とは Time of Fast の略で「断食の時」を意味しています。クラブ例会での食事を抜き、その金額相当分を国際協会に献金する。集まった献金は世界中の YMCA から募集して国際協会が選定します。

発展途上国を主たる対象とする地域支援プロジェクトに用いられます。

東日本区では、2月を強調月間とし、クラブ例会だけでなく、2月に開催される 区、部の会合でも食事を抜いたり、簡素なものにしてその分を献金するよう努めています。具体的には、発展途上国での高い失業率のある地域の YMCA がミシンや裁縫の技術を女性に教える為この献金から活用して喜ばれている例などがあります。またケンの栽培から農業に転換するための支援などあり、年間4千万円ほど使われています。

ワイズメンの運動はこうした面にも役立っているのです。 (太田 記)

【 1月の Zoom 例会のご報告 】



2021年1月の初例会は長澤様から Zoom をお借りして1月20日(水)に開催しました。(19時~20時45分)

参加者は、下記の15名でした。(内訳・敬称略)

*公式訪問者：東新部加藤義孝部長

*卓話ご担当：長澤弘様(東京クラブ)

卓話テーマ：「市川歴史散歩を通して思うこと」

*ゲスト：江口、佐藤、長澤山泰(東京)、松香、権藤(コスモス)石田、伊藤(多摩みなみ)、張替(世田谷)

*当クラブ：為我井、太田、尾張、諏訪、城田
上記の5名

*卓話の要旨下記の通りです。

長澤様がお住まいの市川周辺は縄文時代の遺跡が多く、趣味の歴史散歩の成果をお話し頂きました。

以下に長澤様がお書きになった市川歴史散歩の書き出しをご紹介します。

『コロナ禍の自粛生活の中の楽しみはウォーキングです。市内で歩いて行けるところとなるとどうしても限定されますが、最も興味のあるのは市内に堀之内、姥山、曾谷と3か所ある縄文の遺跡です。私は常々縄文人を自称していますが、それはITを使いこなすことが出来ない前時代人としての自嘲です。しかしもう一つの含意は、縄文時代を見直すべきではないかということです。21世紀の今、グローバルイズムと市場原理主義が暴走し、人類社会がこれ以上持たないのではないかと危惧されています。』

【 事務局からのご連絡等 】

(1) 2月の例会もコロナ禍を避けて Zoom 例会で開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。

① 日時：2月17日(水) 19:00~21:00

② 卓話は「5Gの解説」と題して熱海クラブの札笠憲様にお話し頂きます。

③ 参加申込：クラブ事務局・尾張まで

*メール：howari3119@kib.biglobe.ne.jp

*TEL：090-2248-8609

*ご都合による当日の飛び込み参加もOKです。

④ 時間になりましたら URL (1頁の例会プログラムに表示) をクリックして下さい。

(2) 当クラブの3月例会は行わず、コスモス、多摩みなみ、スマイリングの3クラブ合同例会になり。コスモスクラブの例会日に合わせて開催します。

*日時：3月8日(月) 19:00~20:30

(尾張 記)

東日本大震災10年誌への寄稿のお願い

東日本区理事(東日本大震災支援対策本部・本部長) 板村哲也(東京武蔵野多摩)

東日本大震災10年誌編集長(同・2011.3-2012.6部統括) 田中博之(東京多摩みなみ)

東日本区クラブ会長の皆さま、部長の皆さま

東西日本区メンバーの皆さま

まもなく、東日本大震災から満10年が経過しようとしています。東日本区理通信2月号でご案内いたしましたように、このひとつの節目に、東日本区では、区、被災地のクラブおよび区内の各クラブが行ってきた支援活動を改めて記録として取り纏め、振り返って、未だ復興の途上にある被災地への今後の支援活動の取り組みを強め、また、次の世代に渡すバトンともしたいと思っております。さらに、この記録が、今後も起こりうる大規模自然災害の際の、私たちの行動の参考となることも願っています。

東日本大震災10年誌の主要な部分は、皆さまからの寄稿をもとに制作いたします。以下のご協力

をどうぞよろしくお願ひいたします。【東日本区各クラブ（部）の活動記録】（東日本区各クラブ会長（部長）へのお願ひ）

各クラブが行った（行っている）支援活動の内容の記録をお纏めください。活動の内容を客観的に記述してください。クラブとしての振り返り（所感）や今後の計画等についてお書きいただいても結構です。部としての取り組みがある場合は、部としてご寄稿ください。

●記事の分量は、A4の1/4ページ（500文字）から1/2ページ（1,000文字）程度を目安としますが、それよりも短くても長くてもOKです。

●写真を1-2枚付けていただくことを歓迎いたします。記事の中には埋め込まずにJPEG形式で添付してください。

●クラブ（部）名だけを掲載し、執筆者名、タイトルは、掲載いたしません。

●個人としての寄稿は、これとは別に、以下の「ひとこと集」にお願ひいたします。

【ひとこと集】（東西日本区各メンバーの皆さまへのお願ひ）

東日本大震災、東日本大震災被災者・被災地支援活動についての皆さまのエピソード、思いなどを寄稿してください。できるだけ多くの方々からご寄稿いただきたいと思います。なお、関わられた支援活動が、「各クラブ（部）の活動」に記載されている場合は、重複しないよう、活動内容は、概略程度で結構です。

●記事の分量は、200-300文字を目安としますが、それより短くても構いません。

●掲載を希望される写真があれば添付してください。記事の中には埋め込まずにJPEG形式で添付してください。いただいた写真を掲載するかは、全体のバランスの中で決めさせていただくことを予めご了解ください。

●寄稿者の氏名とクラブ名を掲載いたします。

●西日本区のメンバー、YMCA スタッフの皆さまも積極的に寄稿をお願ひいたします。

【締め切り、送付先等】

●両寄稿とも、2021年3月末を送付期限とさせていただきます。

●皆さまからの寄稿が出揃った後、今年度内のできるだけ早い時期に発行したいと思います。

●原稿(MS Word。特にフォームはありません)、写真(JPEG)は、原則、メール添付で田中までお送り下さい。

送付先：田中博之 ML40601@nifty.com

●本件に関するお問い合わせも田中までお願ひいたします。 携帯：090-9823-6387 Fax：042-691-7567

在京ワイズメンズクラブ会長会に出席報告

1月9日（土）、在京ワイズメンズクラブ会長会が本来ならば恒例の在京新年会の予定でしたが、コロナウイルス拡大の影響と緊急事態宣言を受けてオンラインで開催されました。17クラブの会長と担当主事が参加し、それぞれのクラブの昨年の現状と今後のことを報告されました。

コロナ禍のためにどのクラブも例会や活動を縮小せざるを得ない中で何とか努力されている例を紹介いただき、心強い思いをいたしました。同時に、ワイズメンズクラブのパートナーであるYMCAが昨年来の活動と事業が大幅な損失を被り、大変な状況にあることを認識させられ、何とか一助の試みができればと思う次第です。もうひとつ、在日韓国YMCAが韓国YMCAの援助もない大変厳しい状況であることも報告され、考えさせられました。

この1年はクラブ間のつながりの大切さを思い知らされました。今後、会員減少、高齢化、活動の固定化等々様々な問題が予想されますが、一クラブでは出来ないことを近隣のクラブや兄弟クラブ、部を越えての連携によってこれからは動いていかなければならないでしょう。

私にとっては初めての在京会長会の出席でしたが、会クラブの現状と今後の在り方、そしてYMCAや対外的な団体との関係を知る良い機会となりました。（為我井 記）

東新部 EMCEE セミナーのご案内

2月20日（土）13：30～15：30に東新部のEMCEEセミナーがZoomにより開催されます。

（主なプログラム）

1. 「ワイズメンズクラブをより魅力的にするために」
Chenge!2022! 推進委員-石田孝次（多摩みなみ）
2. 「Chenge! 2022・なぜ会員増強なのか！」
東日本区会員増強事業主任-伊藤幾夫（多摩みなみ）
3. ディスカッション

（お申し込み先）

※当クラブの太田勝人が東新部LT委員長を担当されておりますので下記の太田様宛のメールへ

お申し込み下さい。 vic6175@f04.itscom.net

※なお当日の急な参加も可能です。

詳細は次頁のポスターをご覧ください。

